



写真：中核市移行式（平成31年4月1日撮影）

CONTENTS

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ●《企画》キッズ向け市議会ガイド その2
..... ②～③ページ | ●常任委員会審査の概要..... ⑪ページ |
| ●3月定例会の概要／市長所信表明要旨
..... ④ページ | ●予算特別委員会審査の概要... ⑫～⑬ページ |
| ●市政に関する質問／請願・陳情審査結果
..... ⑤～⑩ページ | ●審議結果／人事案件..... ⑭～⑮ページ |
| | ●お知らせ／議会日誌／6月定例会の予定
..... ⑯ページ |

ガ イ ド その2



がいは
会派での勉強会



がいは
会派とは：甲府市のことについて同じ
かんがえをも ぎいん
考えを持つ議員さんのグループだよ。

がいは
会派ごとに甲府市を良くする
ほうほう
方法についての話し合いや
ほかの市への調査をしています。



ぎいん
議員さんってどんな
かつどう
活動してるんだろう？

ぎいん
議員さんは市民の代表として、
しみん だいはう
みんなの暮らしを良くするために、
く よ
議会が開かれていない間も
ぎ かい ひら
いろんな活動をしているよ。
かつどう
今回は、議員さんが普段している
こんかい
活動を見てみよう。

しやくしょ しごと
市役所の仕事について詳しく
はなし き
話を聞きたいのですが・・・



しやくしょ たんとうしゃ
市役所の担当者への
き
聞き取り

こうふし
甲府市を良くしていくために
りかい
理解を深めます。

ぜひ、読んでみて
ください！



がいとうえんぜつ
街頭演説や
しせい
市政レポートの配布



こうふし
甲府市への思いや、
ぎいん
議員としての活動などを
みんなに伝えていきます。

お キッズ向け

し
市

ぎ
議
会

かい
会



じもとこんだんがい
地元懇談会や
かつどうほうこくがい
活動報告会

ちいき
地域などのいろんな集まりに
い
行って、
じょうほうこうかん
情報交換しています。



ちょうさ けんきゅう
調査・研究や
じょうほうはっしん
情報発信

こうふし
甲府市のいろんな仕事についで
しら
調べて、ホームページやSNSを
りよう
利用してお知らせしています。

トイレがキレイに
なるように
はたら
働きかけてみよう。



げんちちょうさ
現地調査

こうえん
公園のトイレがもっと
キレイになるといいな。



さっそく見に
い
行ってみますね。

みんなからの意見や要望を
き
聞いて、まちを良くするために
しやくしよ
市役所に働きかけます。

しみん
市民からの
そうだんたいおう
相談対応

3月定例会の概要

甲府市議会は、3月定例会を2月27日から3月25日までの27日間の日程で行いました。

平成31年度甲府市一般会計予算、甲府市市税条例の一部を改正する条例制定についてなど、各常任委員会の審査（概要は11ページ）及び予算特別委員会の審査（概要は12・13ページ）を経て、市長から提案された49案件を審議し、すべて可決・同意いたしました。

今定例会は、甲府市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例制定や甲府市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例制定等、中核市移行に伴う条例の制定及び一部改正が12案件ありました。

中核市関連以外の主な条例は、甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定についてで、学校教育法の一部改正に伴い、新たな高等教育機関として専門職大学の制度が設けられることなどから、布設工事監督者、水道技術管理者の資格の規定について、所要の改正を行うものです。

主な補正予算は、平成30年度甲府市一般会計補正予算（第6号）で、国民健康保険事業特別会計繰出金における保険者支援事業の額の確定に伴う繰出金の増額等の補正となっています。

樋口雄一市長 所信表明要旨



平成31年度の市政執行にあたりましては、「第六次甲府市総合計画」における基本構想に基づき、次に述べます方針のとおり、施策の重点的かつ効率的な執行に努めてまいります。

○いきいきと輝く人を育むまちをつくる

本市の将来を担う子どもたちの健やかな心身の育成や、地域ぐるみで子育てを応援する取組を展開するとともに、教育施設の改修等による学習環境の整備や時代のニーズにあった学習用教材の充実などによる質の高い学校教育を展開するなど、子育て・子育てに資する切れ目のない支援に力強く取り組めます。

また、本市の歴史や文化等を学び、郷土を誇り愛する気持ちを育むことで地域の絆の深化を図るとともに、国際交流を通じたグローバルな感性を持った人材の育成をはじめ、生涯学習の充実やスポーツの振興に取り組み、心豊かで輝く人を育むまちづくりを推進します。

○魅力があふれ人が集う活力あるまちをつくる

業種や業態を超えた連携の促進や、地域資源を活かした特色ある生産品

等のブランド化、新たな販路開拓支援などに取り組むとともに、若者や外国人留学生等の就職支援のほか、女性の就業や起業をサポートする体制の構築など、誰もがいきいきと活躍できるまちづくりを推進します。

また、観光資源の磨き上げに加え、こうふ開府500年記念事業の賑わいと歴史資源を活用した交流人口の拡大を図る取組や、オリンピック等を契機として増加する外国人観光客の受入れ環境の整備を推進することともに、東京圏からの移住・定住を促進するなど、魅力と活力のあるまちづくりに取り組めます。

○安全で安心して健やかに暮らせるまちをつくる

防災意識の醸成や資機材等の整備・充実を通じて、地域防災力の強化による災害に強いまちづくりを推進するとともに、防犯活動や交通環境の改善に努め、安全で安心なまちづくりに取り組めます。

また、産官学民連携による先進的な「健康づくり」や「生きがいづくり」を展開するとともに、甲府市健康支援センターを拠点とした質の高い総合的な保健・衛生・福祉サービスの提供や、介護予防の充実など、市民が健やかに暮らせるまちづくりを推進します。

○自然と都市機能が調和する快適なまちをつくる

環境保全意識の向上に資する取組

をはじめ、再生可能エネルギーの導入・普及促進、ゴミの減量化・再資源化などの取組を推進し、持続可能な循環型社会の構築を図るとともに、水道水の安定供給や、生活排水の適正処理などにより、市民に良好な住環境を提供します。

また、「集約と連携による持続可能な都市構造の実現」に向け、都市機能及び居住の誘導や利便性の高い公共交通ネットワークの整備に努めるとともに、リニア中央新幹線の開業による効果を最大限に享受し、市域全体の活性化へつなげられるよう、都市基盤の整備や計画的な土地利用の推進など、未来へと続く住みよい暮らしづくりを推進します。

○基本構想の推進

多様な主体が、お互いの特性や違いを理解・尊重し、共通の課題の解決や目標に向かって取り組む協働によるまちづくりを推進するほか、本市の価値やイメージの向上を図り、「選ばれた都市」となるよう効果的に本市の魅力を発信するとともに、「中核市」として、圏域全体の発展に向け、近隣自治体と一層の連携を図ります。

また、「見える化」による効果的・効率的な行財政運営と財政健全化に積極的に取り組むとともに、職員の能力と組織力の向上に取り組む中で、複雑多岐にわたる課題への迅速な対応はもとより、市民ニーズを的確に把握し行動するアクティブな組織への進化を図ります。



日本共産党
代表質問（分割）

内藤 司朗

防災・減災対策について

質問Q 新年度予算に計上された民有地のブロック塀の耐震改修等補助金について、その内容をお示しください。

答弁A 民有地のブロック塀の耐震改修等補助金は、国の防災・安全交付金を活用して避難路や通学路に面する危険なブロック塀等の撤去または改修を促進するため、2年を補助対象期間として所有者又は管理者に対して、20万円を限度に撤去または改修に要した費用の一部を補助するものです。

今後は、新たな補助制度も活用して民有地のブロック塀の安全対策に取り組んでまいります。

市営住宅について

質問Q 公営住宅管理標準条例（案）が改正され、保証人に関する規定が削除されたことに伴い、本市も市営住宅条例の連帯保証人を必要とする規定を削除すべきと考えますが、見解を求め

ます。また、新たな住民負担増となる市営住宅の駐車場有料化計画を撤回すべきと考えますが、見解を求めます。

答弁A 本市では、これまでも生活保護の被保護者やDV被害者には免除規定を設け、身寄りのない単身高齢者等、入居時に連帯保証人を確保することが困難とされる方々には住所要件の拡大等要件を緩和してまいりました。

こうした中、昨年3月に連帯保証人に関する規定が改定されたことも踏まえ、改正された民法の施行までに検討を行ってまいります。

駐車場整備に伴う有料化については、駐車場は特定の入居者が利用するため、受益者へ応分の負担をお願いするとともに、既に有料化している市営住宅の入居者や近隣の民間賃貸住宅居住者との公平性を保つため有料化するものです。

なお、甲府市市営住宅駐車場整備計画に基づき、来年度から善光寺団地において実施設計を行うなど、計画的に整備を進めてまいります。



その他の質問事項

・教員の多忙化解消について 他



政友クラブ
代表質問（分割）

荻原 隆宏

市長の政治姿勢について

質問Q 市長2期目における、政策実現に向けての決意とその道筋をお示しください。

答弁A これまで推進してきた施策については、引き続き私が目指すまちづくりの柱としながら、本市の未来創りに向けて、注力する必要がありますと考えた要素を加えた「7つの元気スタイル」を市民の皆様にお示ししたところです。

新たに加えた「女性活躍」は、女性の活躍の場や、多様なライフスタイルを応援する仕組みを創出するほか、「いきがいきづな」は、誰もががきづなを深め、いきがいをもって人生を送れるようサポートしていくとともに、「郷土愛の醸成」は、多くの市民がこうふ愛を深める取組や、未来の甲府を支える人材育成を進めてまいります。

今後は、具体的に検討を進め、新たな行政計画として6月を目途に策定し、着実に推進していく中で「人とくらしの元気創り」の実

現に全力を注いでまいります。

児童館の整備について

質問Q 児童に健全な遊びの場を提供し、健康の増進と豊かな情操を育むことを目的とした児童館の役割は誠に大きいものがあります。こうした観点から、南部地域に最低1カ所の児童館を設置すること、可能であれば体力増進設備のある施設の整備をお願いしたいと思いますが、見解を伺います。

答弁A 本市の児童館及び児童センターは、子どもたちが気軽に集まり遊びを通して充実した体験ができる施設としての役割を担っているほか、放課後児童クラブとしての機能を果たしています。児童数が多く、今後も増加が見込まれる南部地域への整備の必要性は認識しています。

こうしたことから、今後につきましては、子ども子育て支援計画の策定過程の中で、整備に関する課題を整理するなど、検討してまいります。



その他の質問事項

・甲府城周辺地域の整備について 他



創政こうふ
代表質問 (分割)
桜井 正富

甲府市健康支援センターの活用について

質問Q 市民の健康的な生活を守る拠点として、市民の健康づくりを推進する取組をどのように行うのか、お示しください。

答弁A 健康支援センターにおける新たな健康づくりの取組として、高齢化率や健康診査等のデータに基づき、ライフステージや地区ごとの分析を行い、地域における健康教室等や新たな事業展開への活用を図ってまいります。

また、職域保健との連携を深める取組として、民間の小規模事業所職員を対象とした講演会による意識啓発や事業所の健康課題解決に向け、共に協力して取組を進めるなど、職域保健と地域保健との連携体制の構築を図ってまいります。

更に、専門性を活かした市民への情報提供として、出前講座に感染症や食中毒の予防等に関する生活衛生分野の項目を新たに加えるなど、保健所が持つ機能を発揮し、

安全・安心な生活環境づくりに取り組んでまいります。

豪雨災害に備えた避難対策の強化について

質問Q 全自治会を対象とした地区防災研修会における防災情報や避難行動等についての指導内容と、国の避難勧告等に関するガイドラインの見直しが行われた際の周知方法について伺います。

答弁A 地区防災研修会では、それぞれ避難情報の意味と発令時にとるべき行動の説明や情報伝達手段の周知を図るとともに、状況に応じた適切な避難行動がとれるよう指導を行い、自助・共助の必要性を認識していただく中で、地域防災力の向上に取り組んできたところです。

国の避難勧告等に関するガイドラインが見直された際は、速やかにマニュアルの見直しを行い、広報誌やホームページをはじめ、甲府市防災アプリ等の活用など様々な機会を通じて周知してまいります。

その他の質問事項

・若い世代を応援する取組について 他



公明党
代表質問 (分割)
兵道 顕司

子どもの権利条例について

質問Q 子どもを一つの人格として尊重する機運の醸成が必要であり、児童の悲惨な事件を増やさないという決意の上で、次の時代を担う大切な子どもたちを権利の主体として規定し、守っていく子どもの権利条例を制定すべきと考えますが、見解を伺います。

答弁A 児童虐待による痛ましい事件が起こらないよう、最重要政策である「こども輝くまち」創りに向けた施策を更に進めつつ、子どもに関わるすべての大人が地域ぐるみで子どもの成長を見守り応援するために、より一層、実効性が高められる制度の構築が必要であると考えています。

こうしたことから、子どもの権利を守り、成長を応援するための条例の整備について検討してまいります。



学校現場における「多職種の連携」体制の構築について

質問Q 学校現場における児童の様々な問題に対処するため、特にスクール・ソーシャル・ワーカーの配置を含めた多職種の連携体制を構築することについて、見解を伺います。

答弁A 平成28年度からスクール・ソーシャル・ワーカーやスクールサポーター等を配置し、子どもや家庭への支援に取り組む体制を整えております。

各学校では、学級担任や養護教諭等が連携し、児童・生徒の様子をきめ細かく観察するとともに、学校だけでは解決が困難な事例については、教育委員会の専門スタッフや子ども支援課の家庭児童相談員等と協働して問題解決に取り組む中で、特に、DVや虐待の問題に対しては、児童相談所や警察等と繋げるなど、子どもを取り巻く環境の改善に取り組んでおります。

その他の質問事項

・関係人口による地域活性化について 他

就学援助制度の拡充について



日本共産党
一般質問（分割）

木内 直子

質問Q 準要保護世帯を含めた入
学準備金の増額、卒業アル
バム代等の補助対象への追加、就
学援助新3項目（クラブ活動費、
生徒会費、PTA会費）の支給を
求めますが、見解を伺います。

回答A 昨年12月に国から通知さ
れた2019年度要保護児
童生徒援助費補助金の予算額（案）
では、新入学児童生徒学用品費等
の単価引き上げや卒業アルバム代
等が追加されるなどの変更内容と
なっており、準要保護世帯への新
入学児童生徒学用品費等の増額に
ついては、国の正式決定までに検
討してまいります。

また、クラブ活動費、生徒会費、
PTA会費への支援は、各学校の
徴収内容等が一律でないなどの課
題もあることや全国的な実施率も
2割程度に留まっていることから、
新たに支給対象となる卒業アルバ
ム代等を含め、引き続き他都市の
動向を注視してまいります。

女性に配慮した避難所対応 等について

質問Q 全国の自治体で取組が行
われている女性特有の問題
を取り上げた、女性のための災害
対応ハンドブックについて見解を
伺います。

回答A 本市では、女性を対象と
した防災研修会を実施する
とともに、避難所運営マニュアルに
女性の運営委員会への参画や避難
所での配慮事項を掲載しています。
また、各避難所へ授乳室用テン
トや乳幼児用ベッドといった防災
資機材の配備も行い、女性に配慮
した避難所環境の向上に取り組ん
できたところです。

災害時は、平時時と異なる環境
での生活を余儀なくされるところ
ですが、その中でも女性を守られ
る環境づくりに努めていくことは
重要であるため、女性が安心して
災害時の生活が
送れるよう引き
続き取り組んで
まいります。



その他の質問事項

・（仮称）甲府市行政改革大綱
（2019（2021））（素案）
について 他

地域公共交通について



政友クラブ
一般質問（分割）

池谷 陸雄

質問Q 甲府市地域公共交通網形
成計画策定の趣旨及び計画
の概要について、また、公共交通
の利用促進に向けたこれまでの取
組と更なる公共交通に対する市民
の意識醸成について伺います。

回答A 地域公共交通は、市民に
多様な効果をもたらし、生
活を支える移動手段として重要な
役割を担っており、持続可能なも
のとするのが課題であることか
ら、甲府市地域公共交通網形成計
画を策定し、新年度から市民に説
明してまいります。

本計画では、コンパクトなまち
づくりとの一体性を確保した地域
公共交通ネットワークの構築や、多
様な交通手段の組み合わせによる
ネットワークの再編、更には、効率
的かつ効果的な利用促進の3つの
基本方針に基づき、課題に対応す
る23の施策を進めてまいります。
また、利用促進については甲府市
バス・鉄道乗る乗るレンジャー制度

水道事業について

等の多様な施策を通じ、路線バス利
用者数の増加に繋がっており、効果
が表れていると考えています。
今後は、本計画の施策を展開す
ることで公共交通を利用すること
への意識醸成に努めてまいります。

質問Q 水道法改正に伴う官民連
携によるコンセッション方
式の導入について見解を伺います。

回答A 水道事業は、民間委託や
業務の効率化等に取り組む
中で、一定規模の純利益を確保し、
健全な事業経営を行っています。
また、適切な水質管理や水質職
の確保、検査機器の充実等、自己
検査体制を確立してきました。

更に、大規模災害等への対応を
図るため、技術や知識を継承し、
組織の中で技術力やリスク対応力
を高めることを重視しています。
こうしたことから、直ちにコン
セッション方式の導
入の検討に入ること
は考えていませんが、
引き続き情報収集を
行っています。



その他の質問事項

・第3次甲府市食育推進計画の策
定について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

廣瀬 集一

幼児教育・保育無償化の効果について

質問 Q 本年10月1日に実施される幼児教育・保育無償化によって、本市における年収360万円以下の世帯への効果は金額的にどのくらいと考えられるか、お聞かせください。

回答 A 幼児教育等の無償化については、昨年12月28日の関係閣僚会議で、制度の具体化に向けた方針が合意され、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもについて、保育料が無償となります。

その効果については、年収360万円の世帯を例にとると、月額1万6600円の保育料が無償となる一方、これまで保育料に含まれていた副食費4500円程度が新たに実費徴収となることから、1万2000円程度の負担減と試算されます。

日本ジオパークへの登録について

質問 Q 大自然に囲まれた甲府盆地を日本ジオパークに登録していくことを目指して検討を始め、宣言等を行うことを提案しますが、見解を伺います。

回答 A ジオパークは、美しい自然景観や学術的に価値のある自然遺産を用い、地球を学び、楽しむことのできる場所であり、現在、日本ジオパークは、全国44地域、その内9地域がユネスコ世界ジオパークにも認定されています。

ジオパークを観光資源として活用することは、地域の活性化に繋がる一つの方策であると認識していますが、その認定や維持は、行政のみならず、ジオパークに関わる地域住民をはじめ、多岐にわたる関係者の継続的な理解と協力が不可欠であるとともに、多額の財政支出を伴うケースもあることから、認定地域の事例等を調査・研究してまいります。



その他の質問事項

・甲府市市民憲章の見直し等について 他



政友クラブ
一般質問（分割）

岡 政吉

山城地区の開発について

質問 Q 山城地区の農業振興地域の指定を解除するよう国や県に求めていくこと、また、産地域としてだけでなく商業地域として開発していくことを求めますが、見解を伺います。

回答 A 山城地区の市街化調整区域は、山梨県が昭和47年3月に農業振興地域に指定し、本市が整備計画を策定する中で、農地の保全と管理を行っています。

その後、新山梨環状道路の整備により、落合町にインターチェンジが設置されることから、インターチェンジ周辺を産業機能の集積を図る特定機能補強地区として位置付けたところです。

今後、山城地区の農業振興地域は、農地の保全を原則とし、特定機能補強地区は、産業の活性化や雇用機会の拡大など経済発展に資する産業機能の立地を促進するため、現況の土地利用を勘案した適切な手法を検討してまいります。

モノレールの設置について

質問 Q リニア駅とJR甲府駅を繋ぐ移動手段として、モノレールの設置を山梨県に要望していただきたいと考えますが、見解を伺います。

回答 A モノレールは、定時性や輸送能力に優れ、一定の需要がある地域や区間では有効な交通手段だと認識していますが、山梨県が平成24年度にバス交通が最適であると結論付けており、ルートについても、平成29年3月策定の山梨県バス交通ネットワーク再生計画に、国道358号の活用が位置付けられました。

こうした経過を受け、現在策定している甲府市地域公共交通網形成計画の中で、リニア駅と甲府駅を繋ぐバス路線を新たな公共交通軸とし、山梨県等とともに、燃料電池バス等の環境にやさしい次世代車両や、先進交通技術を備えた自動運転バス等の導入について、検討を行うこととしました。



その他の質問事項

・甲府市の教育について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)

望月 大輔

児童虐待への対応について

質問 Q 児童虐待への対応強化を図るための「子ども家庭総合支援拠点」としての機能をどのように果たしていくのか伺います。

回答 A 子ども相談センター「おひさま」が、児童虐待に対応する拠点としての役割を果たしていると考えており、子どもの安全確認や養育状況の調査等を行い、一時保護が必要と判断した場合は、山梨県の中央児童相談所とも連携し、速やかな送致を行っています。

また、一時保護に至らない児童や一時保護が解除された児童に対しては、支援のための訪問や子育て短期支援事業等、必要な施策へ繋げ、在宅支援を行っています。

今後、関係機関との連携をより密接に行うことが重要となるため、本市要保護児童対策地域協議会を随時開催し、情報提供及び情報共有を図る中、次代を担う子どもたちの命を守り、健やかに成長できるように全力で取り組みます。

遊亀公園附属動物園100周年記念事業について

質問 Q 開園100周年の記念のお祝いをする中で、甲府の歴史を知り、愛着の醸成にも繋がると思いますが、見解を伺います。

回答 A 遊亀公園附属動物園は、今年、開園100周年という節目の年を迎え、記念イベントをこうふ開府500年記念事業に位置付け開催する予定です。

記念事業については、これからの動物園・公園のあり方を考えていただく契機とするパネル展示や獣舎の裏側を見学するバックヤードツアー等を検討しています。

また、市民の参画や官民の連携を図る事業としてマルシェの開催等、市民の皆様が改めて動物園に親しみや愛着を持っていただけるよう計画しています。

なお、開催時期や期間は、こうふ開府500年記念事業である秋の賑わい創出事業の一環として、一定の期間、開催できるよう検討してまいります。

その他の質問事項

・こうふ開府500年記念事業について 他



創政こうふ
一般質問 (分割)

向山 憲稔

リニア駅周辺開発について

質問 Q 新山梨県知事が示している駅位置の選定や国際会議場の建設等のリニア駅周辺開発の考え方について、市長の見解を伺います。

回答 A 知事は、リニア駅の位置について決定した経過等の勉強から始めたいとしており、駅周辺整備については、国際会議場等の誘致に言及しています。

これらの発言は、リニア開業がもたらす効果を、全県下へ波及させるための仕組みづくりへの決意ではないかと感じています。

一方、山梨県は、リニア駅が本市大津町に決定されて以降、周辺市町と有識者等による活発な議論と緊密な協議・調整を重ねており、リニア効果を、近隣地域はもとより県下全域へ波及させるという目的に沿った議論が交わされ、私自身も、同様の認識で意見を述べてまいりました。

今後、私自身が知事との意見交換を行い、本市のまちづくりとの相乗効果が図られ、県下自治体の活性化と発展に資する未来のまちづくりの実現に向け、山梨県との連携強化を図ってまいります。

中核市移行について

質問 Q 山梨県と本市による連絡協議会等を設置し、中核市移行後の諸課題に対応する必要があると思いますが、見解を伺います。

回答 A 中核市移行に関する山梨県との十分な協議・調整を行い、事務内容の調査・研究や課題整理等は、事務担当者で組織するワーキンググループ等で、県市間の緊密な連携を図り、万全の準備を整えてまいりました。

中核市移行後も、移譲事務に係る検討課題や不明な点が生じた場合には、各関係部署で調整し、円滑な業務遂行に努めるとともに、保健所運営については、保健所長による連絡・調整の会議等で随時、県市間の情報共有を図ってまいります。

その他の質問事項

・国体招致に向けた本市の取組と新アリーナ建設について 他





公明党
一般質問（分割）
植田 年美

エス・ディー・ジーズ
SDGsについて

質問Q 国連で採択されたSDGs
に対する本市の考え方と、そ
の推進に向けた今後の取組や市民
への周知について伺います。

答弁A SDGsは、持続可能な
社会をキーワードとした国
際目標であり、本市では、甲府市
総合計画の都市像実現を目指す各
般の取組等、多くの方々との協働
により、持続可能なまちづくりを
進めています。

本市総合計画で現在推進してい
る、健康づくりの推進、学校教育
の充実等、多くの取組がSDGs
に掲げられた理念や目標に通ずる
ものと捉えています。
今後も、持続可能な地域づくり
に向けた総合的な取組を推進する
とともに、職員研修の開催等、庁
内の理解を深めるための取組を進
め、SDGsの普及に貢献し、市
が取り組む様々な事業を通じて市
民への周知が図れるよう努めてま
います。

液体ミルクについて

質問Q 災害備蓄品として導入す
ること、また、乳幼児健診
等での紹介など啓発事業が必要と
考えますが、見解を伺います。

答弁A 本市では、大規模災害に
備え、全避難所の防災倉庫に
乳児用、幼児用に加えアレルギー対
応用の粉ミルクを備蓄しています。
また、衛生面を考慮し、平成26
年度より缶タイプから使い捨ての
スティックタイプに変更し、乳幼
児の健康確保に努めています。

液体ミルクは、常温での保存や
開封後すぐに飲ませることが可能
であり、災害時の水やガス等が使
えない状況でも乳児に必要な栄養
が容易に摂取できるなどの効果が
期待されますが、価格や賞味期限
が短いなどの課題も想定されるこ
とから、今後は、
関係部局と連携
し、利用者の声
や家庭での普及
状況等を踏まえ、
対応を考えてま
います。

■その他の質問事項

・アレルギー疾患対策について 他



平成31年3月定例会請願・陳情審査結果

	番 号	件 名	付託委員会	結 果
請願	第27-6号	沖縄県民の声に共感し地方自治の堅持を国会と政府に求める意見書提出を求める請願	総 務	継続審査
	第28-1号	安全保障関連法の廃止、または再検討を求める意見書の提出を求める請願	//	//
	第28-6号	「治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める意見書」の提出を求める請願	//	//
	第29-4号	共謀罪法（テロ等準備罪処罰法）廃止のための意見書提出を求める請願	//	//
	第29-5号	共謀罪（テロ等準備行為処罰）法の廃止を求める意見書提出の請願	//	//
	第29-7号	国民健康保険の都道府県単位化に向けての請願	民生文教	//
	第29-8号	国民健康保険の都道府県単位化にかかわる請願	//	//
陳情	第30-2号	政府に核兵器禁止条約に参加し批准する意見書の提出を求める請願	総 務	//
	第30-1号	庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情	総 務	継続審査

常任委員会審査の概要

常任委員長
報告要旨

予算や条例など付託案件を審査した経過等の概要です。

民生文教委員会

(3月7日審査)

◆議案第17号 平成30年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、財政支援の拡充について、引き続き全国市長会等を通じ、国へ要望するよう求める意見がありました。

◆議案第19号 平成30年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、相談窓口等において、今後も丁寧な対応に努めるよう求める意見がありました。

◆議案第41号 財産の取得について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、リニア中央新幹線整備に伴う中道北小学校移転に当たっては、本市の費用負担軽減のための交渉を進めるよう求める意見がありました。

◆議案第16号 平成30年度甲府市一般会計補正予算(第6号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、保育士の更なる処遇改善に努めるよう求める意見がありました。

総務委員会

(3月7日審査)

◆議案第18号 平成30年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号) 他1案

2案については、貸付事業は償還率が低く、特別会計の貸付金未償還分を一般会計からの繰出金で補てんすることには反対であるとの意見がありました。採決の結果、いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第39号 甲府地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び甲府地区広域行政事務組合規約の変更について 他2案

3案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第45号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

(3月25日審査)

◆議案第47号 平成30年度甲府市一般会計補正予算(第7号)について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆議案第48号 副市長の選任について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり同意するものと決しました。

環境水道委員会

(3月8日審査)

◆議案第16号 平成30年度甲府市一般会計補正予算(第6号)中当委員会所管分

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



経済建設委員会

(3月8日審査)

◆議案第46号 債権の放棄について

全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しましたが、引き続き丁寧な対応に努めるとともに、債権放棄につながらないよう更なる取組を求める意見がありました。

◆議案第44号 訴えの提起について 他1案

2案については、いずれも全員異議なく当局原案のとおり可決するものと決しました。



別委員会審査の概要

平成31年度予算案等を審査

◆予算特別委員会

委員長 鈴木 篤

副委員長 長沢達也

委員 原田洋二 坂本信康

小澤 浩 末木咲子

鮫田光一 桜井正富

清水 仁 天野 一

小沢宏至 兵道顕司

植田年美 内藤司朗

木内直子 山田 厚



委員長報告（抜粋）

◆総括質問

◇リニア駅周辺整備に対する本市の取組について

リニア駅的位置については、甲府圏域を含む県内4地域の要望に基づきJR東海が甲府盆地南部を示し、その後、山梨県が総合的に評価し大津町周

辺を要望し、決定された経過があり、リニア駅周辺整備については、山梨県が主体となりリニア効果を県下全域に波及させるという目的に沿った議論が交わされ、本市においてもリニア開発効果を最大限に活用し、本市の発展に資するまちづくりとして甲府市リニア活用基本構想を策定・推進するとともに、市民からのご要望やご意見を踏まえ、良好なまちづくりを目指し取組を進めていることから、山梨県との更なる連携を進め、本市のまちづくりとの相乗効果が図られ、県下自治体の発展に資する未来のまちづくりの実現に向けて適進していくとの答弁がありました。

◇中部横断自動車道の開通に伴う取組について

物流面では清水港の活用や中京圏との安定した輸送など東京圏に近いという本市の優位性が高まることで、関東進出を目指す企業から立地候補地の一つとして選ばれるよう企業へのアプローチを強化し、また、観光面では旅行会社などに本市へのツアー企画造成の要請や、清水港の大型国際クルーズ船の停泊時間を利用した本市への誘客に加え、静岡・長野・上越3市と締結した集客プロモーションパートナー都市協定による、新たな周遊観光ルートの造成や観光資源の掘り起こしを行い、更に、農業面では本市農産物の魅力を

発信し、新市場の開拓に繋げるとともに、日本どう産地協議会などを活用する中で、輸出を含めた販路拡大を検討していくとの答弁がありました。

これに対し、静岡市との交流や本市の様々な情報を発信していくための拠点施設について検討するよう求める意見がありました。

◇平成31年度当初予算について

これまで取り組んできた「こども最優先のまち」を更にグレードアップさせた「こども輝くまち」をはじめとする7つの元氣スタイルを機軸とし、市民の「笑顔」とまちの「元氣」に繋げる取組を推進する中で、新たな時代の全小中学校へのタブレットパソコンの導入や、胃がんの発生を未然に抑制するため、対象者を拡大して実施する胃がんリスク検査など、早期に着手する必要があると判断した事業に係る経費を計上しており、今後、政策的な判断を伴う新規施策・事業については、財政状況を勘案し、優先順位を精査する中で、事業化に向けたロードマップなどの具体的な検討を行い、6月を目途に新たな行政計画として取りまとめていくとの答弁がありました。

◇国民健康保険事業について

来年度の保険料については、山梨県から示される標準保険料率を参考に、被保険者の所得状況等を勘案する中で適正な保険料率を決定し、また、保険料収入の確保については、口座振替の推進や納付資力があるにもかかわらず

納付の意思のない滞納者には財産の差押え等による滞納処分を行い、加えて、医療費の適正化については、第2期甲府市国民健康保険データヘルス計画に基づき特定健診の受診率向上や各種保健事業の充実を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用を積極的に促進していくとの答弁がありました。

◆条例

甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定については、保険料の賦課限度額の引き上げは市民への負担を重くすることから反対であるとの意見がありました。採決の結果、多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

◆一般会計

○歳入について

ふるさと甲府応援寄附金への取組についてただしたのに対し、平成30年度において、情報発信の強化のためポータルサイトへの掲載を1社から5社に増やしたことに伴い増額となったことから、平成31年度も引き続き情報発信の強化に努めていくとの答弁がありました。

これに対し、より注目される取組を求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のと

平成31年度予算特

おります。

・市税等の滞納者に対しては、減免制度を適用するなど丁寧に対応していくこと。

○総務費について

プレミアム付商品券発行事業についてただし、本事業は、消費税率の引き上げにより低所得者及び子育て世帯の消費に与える影響の緩和や地域における消費の喚起、下支えを目的としており、国庫補助の対象であるとの答弁がありました。

これに対し、対象者への周知徹底を求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る事前合宿の環境整備に万全を期すよう努めること。

・甲府市公共施設等総合管理計画（用語解説①参照）については、生活者起点で推進していくこと。

用語解説①

「甲府市公共施設等総合管理計画」とは

公共施設等の全体を把握するとともに、公共施設等ととりまく現状や将来にわたる課題を客観的に整理し、長期的な視点を持って総合的かつ計画的な管理を推進することを目的として策定したものです。

○民生費について

子どもモニター事業の取組についてただし、市政に携わる意識

醸成を図ることを目的として、一日職員となった高校生がテーマに沿った事業案を作成し、模擬議会等において市長に提案するという取組であり、その効果を検証し更に推進していくとの答弁がありました。

これに対し、次代を担う子どもたちの意見を十分尊重する中で、市政運営に取り組んでいくよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・運動遊び事業については、引き続きプレリーダー（用語解説②参照）の養成に努めること。

用語解説②

「プレリーダー」とは

子どもの興味を引き出し、遊びに夢中になる状況を作り出す、運動遊びの先導役となる方のことです。

○商工費について

電話詐欺から高齢者を守る方策についてただし、注意喚起するためのシールの配布や防災防犯メールマガジンでの情報発信などを行うとの答弁がありました。

これに対し、高齢者への新たな被害防止策を検討していくよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・観光商談会については、積極的に参加し甲府市をPRすること。

○教育費について

小中学校における道徳教育についてただし、読み取る道徳から考え議論する道徳へと転換することで道徳性を育んでいくとの答弁がありました。

これに対し、道徳性をしっかり身につけていくため、引き続き道徳教育の充実に取り組むよう求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・市立図書館の利用者への衛生面を考慮し、ブックシャワーの導入を引き続き検討すること。

◆特別会計

○国民健康保険事業特別会計

基礎賦課額の限度額引き上げを含む予算編成であることから反対であるとの意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・引き続き他市町村と連携し、国や山梨県に財政支援を要望していくこと。

○後期高齢者医療事業特別会計

保険料の軽減特例が見直されたことにより市民負担増となるため反対であるとの意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・保険料の滞納者に対しては、丁寧に対応していくこと。

◆企業会計

○病院事業会計

R1検査問題への対応についてただし、定期健康診断の実施や心の健康相談及び放射線医学の専門家による相談を随時行うとともに、過剰投与内部被曝被害者の会との定期協議における意見や要望等に可能な限り対応していくとの答弁がありました。

これに対し、この問題が風化するのではないよう、今後も患者及びその家族の立場を尊重し丁寧な対応を求める意見がありました。

このほか、主要要望・意見は次のとおりです。

・働き方改革を進め、看護師の健康面に十分配慮した体制となるよう努めること。

○下水道事業会計

下水道工事後における道路の復旧についてただし、道路管理者との協議により仮復旧後に経過観察が必要になる場合があり、状況を把握する中で計画的に本復旧の作業を進めているとの答弁がありました。

これに対し、引き続き安全な路面の整備に努めるよう求める意見がありました。

採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決するものと決しました。

平成31年3月定例会審議結果

	件名等	議決月日	結 果	政 友 ク ラ ブ	創 政 こ う ぶ	公明党	日 本 共 産 党	社 会 民 主 党	無所属
議案第 1 号	平成31年度甲府市一般会計予算	3月25日	可決	○	○	○	×	○	○
議案第 2 号	平成31年度甲府市国民健康保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第 3 号	平成31年度甲府市交通災害共済事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 4 号	平成31年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	○	○
議案第 5 号	平成31年度甲府市介護保険事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 6 号	平成31年度甲府市古閑・梯町簡易水道事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 7 号	平成31年度甲府市農業集落排水事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 8 号	平成31年度甲府市簡易水道等事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第 9 号	平成31年度甲府市後期高齢者医療事業特別会計予算	//	//	○	○	○	×	×	○
議案第10号	平成31年度甲府市浄化槽事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成31年度甲府市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第12号	平成31年度甲府市地方卸売市場事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第13号	平成31年度甲府市病院事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第14号	平成31年度甲府市下水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第15号	平成31年度甲府市水道事業会計予算	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第16号	平成30年度甲府市一般会計補正予算(第6号)	3月12日	//	○	○	○	×	○	○
議案第17号	平成30年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第18号	平成30年度甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	//	//	○	○	○	×	○	○
議案第19号	平成30年度甲府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第20号	甲府市軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	3月25日	//	○	○	○	○	○	○
議案第21号	甲府市養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第22号	甲府市特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第23号	甲府市指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第24号	甲府市指定介護予防サービス等の事業の人員、設備及び運営並びに指定介護予防サービス等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第25号	甲府市指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第26号	甲府市指定障害者支援施設等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第27号	甲府市障害福祉サービス事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第28号	甲府市特別会計条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第29号	甲府市保健所関係手数料条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

	件名等	議決月日	結 果	政 友 クラブ	創 政 こうふ	公明党	日 本 共産党	社 会 民主党	無所属
議案第30号	甲府市指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準のうち、申請者の法人格の有無に係る基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	3月25日	可決	○	○	○	○	○	○
議案第31号	甲府市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第32号	甲府市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第33号	甲府市職員給与条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第34号	甲府市特別職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第35号	甲府市市税条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第36号	甲府市福祉センター条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第37号	甲府市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第38号	甲府市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第39号	甲府地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び甲府地区広域行政事務組合規約の変更について	3月12日	//	○	○	○	○	×	○
議案第40号	甲府地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更に伴う財産処分について	//	//	○	○	○	○	×	○
議案第41号	財産の取得について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第42号	包括外部監査契約の締結について	//	//	○	○	○	○	○	○
議案第43号	甲府市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	3月25日	//	○	○	○	×	×	○
議案第44号	訴えの提起について	3月12日	//	○	○	○	○	○	○
議案第45号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○
議案第46号	債権の放棄について	//	可決	○	○	○	○	○	○
議案第47号	平成30年度甲府市一般会計補正予算(第7号)	3月25日	//	○	○	○	○	○	○
議案第48号	副市長の選任について	//	同意	○	○	○	○	○	○
議案第49号	監査委員の選任について	//	//	○	○	○	○	○	○
甲議第1号	甲府市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	//	可決	○	○	○	○	○	○
甲選第1号	日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の補欠議員の選挙について	3月12日	当選	○	○	○	○	○	○

○賛成 ×反対

政友クラブ ◎荻原隆宏 池谷陸雄 原田洋二 大塚義久
 廣瀬集一 鈴木 篤 岡 政吉 坂本信康
 長沼達彦 小澤 浩 末木咲子 深沢健吾
 藤原伸一郎 鮫田光一

創政こうふ ◎桜井正富 金丸三郎 清水 仁 山中和男
 天野 一 小沢宏至 望月大輔 向山憲稔

公 明 党 ◎兵道顕司 中村明彦 植田年美 佐野弘仁
 長沢達也
 日本共産党 ◎内藤司朗 清水英知 木内直子
 社会民主党 山田 厚
 無 所 属 神山玄太

◎は会派代表者

◎人事案件については、次のとおり同意されました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任 清水孝貢

◆副市長の選任 工藤眞幸

◆監査委員の選任 興石十直

◆日向山恩賜県有財産保護組合議会議員の補欠議員の選挙当選者
 鮫田光一

(敬称略)

創刊号からの甲府市議会だよりがホームページで ご覧いただけるようになりました！

甲府市議会ホームページに、昭和44年の創刊号から全ての甲府市議会だより（画像データ）を掲載しました。

ぜひ一度、アクセスしてみてください。



URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/koho/shigikaidayori-index.html>

議会日誌

1月17日(木)	リニア中央新幹線調査研究会	3月12日(火)	本会議(各常任委員長報告、採決)
1月18日(金)	行政視察	3月13日(水)	
2月5日(火)	山梨県市議会議長会議員合同研修会(後期)	3月14日(木)	
2月12日(火)	議員互助会研修会	3月15日(金)	予算特別委員会
2月20日(水)	3月定例会招集告示	3月18日(月)	
2月22日(金)	議会運営委員会、中核市移行に係る議員説明会、会派代表者会議	3月19日(火)	
2月27日(水)	3月定例会開会、市長所信表明、提案理由の説明	3月20日(水)	広報委員会
3月4日(月)	本会議(質疑及び市政一般質問)	3月25日(月)	議会運営委員会、本会議(予算特別委員長報告、討論、採決、提案理由の説明、総務委員会付託)、総務委員会、本会議(総務委員長報告、採決)、3月定例会閉会
3月5日(火)		3月28日(木)	会派代表者会議
3月6日(水)	議会運営委員会、本会議(提案理由の説明、各常任委員会付託、予算特別委員会設置)	4月1日(月)	中核市移行式、 甲府市健康支援センター開所式
3月7日(木)	常任委員会(総務・民生文教)	4月5日(金)	甲府市武田氏館跡歴史館開館式
3月8日(金)	常任委員会(経済建設・環境水道)		

6月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
6/10	11	12	13 本会議 (開会)	14 休会	15	16
17 休会	18	19 本会議 (市政一般質問)	20 常任 委員会	21	22	23
24 常任 委員会	25 休会	26 本会議 (閉会)	27	28	29	30

本会議や委員会はどなたでも傍聴できます。なお、本会議の内、開会日及び市政一般質問を行う3日間にはNS(10ch)でテレビ中継するほか、インターネットによる中継も行います。



甲府市議会広報委員会
委員長：大塚義久 副委員長：長沼達彦
委員：末木咲子 天野 一 長沢達也 木内直子 山田 厚

甲府市議会ホームページ・Eメール
URL <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
Email gikai@city.kofu.yamanashi.jp



〈モバイル〉



〈フェイスブック〉